

88名が愛の献血

七月二十九日実施

部落別献血者数

大別当 10名	月 潟 29名
西登場 2名	上曲通 5名
下曲通 9名	東長島 2名
木 滑 3名	役 場 73名
その他 5名	

血液別内訳

A 型 46名	B 型 21名
A B 型 7名	O 型 14名

十回表彰者 (敬称略)

高野サヨ

二十回表彰者 (敬称略)

五十嵐キミ 近藤文子

星野浩夫

三十回表彰者 (敬称略)

加藤 進 伊藤正男

協力高校生 (敬称略)

星野昌子 山崎庸二

400ℓが13名

# ナイスふ〜ど新潟'89

## 食と緑の博覧会 前売券発売中

「食は新潟かな社」をテーマに「ナイスふ〜ど新潟'89」高食と緑の博覧会が開催されます。

博覧会は、食と食を文化資源、環境の面からとらえた「テーマ館」

「テーマ館」

「企業ゾーン」「企業ゾーン」など。

「イベント広場」では毎日バラエティーに富んだショーを展開、プレイランドでは最近の遊戯マシンが勢ぞろいし、夢いっぱい楽しい博覧会です。

この前売入場券の発売を月潟村役場産業課で行っています。

一、会期 昭和64年7月14日(金)〜9月3日(日)

二、会場 新潟産業センター・周辺地(新潟市鐘木)

三、前売入場券のお知らせ

抽選日 昭和63年12月9日(金)

四、入場料

当日	前売
1,800	1,500
1,300	1,000
800	500
300	200

区分 大人 高校生 小中 幼児

(ハ) グラム旅行など総額一千万円の豪華賞品が当たる抽選券付き。

交通安全・高速道路編

この季節、高速道路の利用が多くなります。

夜間の走行

夜間は、速度感がにぶります。暗く視界が悪いので、速度を感じさせるガードレールなどの対象物や周りの景色が見えないためです。最高速度を超えないよう注意深い運転が必要です。前方に車が走っているときや、対向車のあるときは、前照灯を下向きにし、車間距離を十分にとり、前の車のブレーキ灯に注意してください。

一方、対向車がなく、前にも車がない場合は、視線をできるだけ先へ向けて、道路の状態を早め早めに知るようにしましょう。

また、日が落ちて、空がまだ明るい薄暮のころは、思ったよりも周りは、暗くなっているものです。自分の車の存在を相手に知らせるためにも、早目にライトをつけましょう。

より注意深い運転を

「昭和63年度第7回「佐々木信也杯」争奪中学生野球大会のご案内」主催：白根ロータリークラブ。

※9月4日(日)、白根第一中学校野球場、白根市諏訪の木野球場の2会場で行なわれます。月潟中学校も出場いたしますのでぜひ応援に来てください。

### 第三回 月潟村社会福祉大会開催

月潟村社会福祉大会が、七月三十一日(日)、月寿荘において、関係者百十数名の参加者の中、開催されました。

大会は開会式の後、長い間、寝たきり者の介護をしておられる森山フミさんに表彰状が送られました。事例発表では、泉田紀さんが、御自身が身体の不自由になられてからの社会参加への希望とその為の努力を話され、高橋賢治さんは老人クラブの運営について役員としての苦労話について、そして最後には、保母の目を通して見た今の子供達の現状を棚橋洋子さんが話されました。

午後からの講演は、精神薄弱者更生施設みのり園々長、原猛雄先生による「高齢者対策について」、社会として施設の中でも高齢化が進んでおり、その対処についての話をされました。

発表者の方々には、貴重な体験談をお話し頂き誠にありがとうございました。

### 月潟村社会福祉大会に参加して

道見 秀雄

今年で三回目になる社会福祉大会に始めて参加しました。そして、参加者の多いことと、形式的な大会の多い中に、内容の充実しておることに感心しました。

特に三名の方の事例発表は福祉に関係する者にとって非常に参考になりました。

『障害を乗り越えて、今の私』と題する泉田紀さんの発表に深い感銘を受けました。

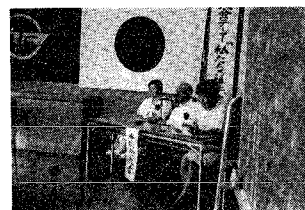
泉田さんのことは、話しには聞いておりましたが、本人から具体的な話しを聞きますと、リハビリと病いに戦う苦勞が生々しく伝わってまいりました。

身体の外に精神的な悩みを乗り越えてこれからの生き甲斐を見付けておられることに深い感銘を受けました。

福祉は物だけではなく心が大切であることを、又、国から与えられるものだけでなく、自らの努力により達成されるものであることを教わられました。



大勢の参加者 表彰をうける森山フミさん

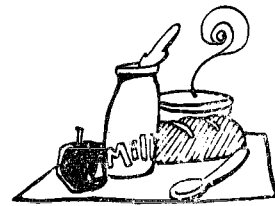


### 募金についてのお礼

社会を明るくする運動の募金が二十一万六千八百四十円となりました。

さっそく郡保護司会を通じての運動によって地域活動の推進による少年の非行防止と更正の援助等に役立っています。ありがとうございます。

日本赤十字社の社費募金が三十四万五千二百六十円となりました。さっそく日赤新潟支部を通じ日赤運動の地域福祉(人命救助、災害救援献血)の活動資金として役立っています。ありがとうございます。



### ご存知ですか? 建設業関係の皆さん!

建設業を営む方々、及び建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか?

この制度は、昭和39年に中小企業退職金共済法により作られた制度です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払う、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

退職金は、国の制度ですから、確実・安全であり、極めて有利な利回りで計算されています。

現在、全国で17万の事業主168万人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立が行なわれ、すでに44万人の労働者が退職金を受け取りその額は934億円を超えています。

この制度について詳しいことは下記にお問合せ下さい。

建設共済 新潟支部  
住所 新潟市光町7-15  
新潟県建設会館内  
電話 025(285)7111